

Application No. L2091

Ca拮抗剤の分析

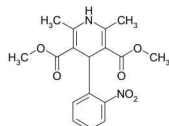
Analysis of Calcium antagonists by HPLC

フェニルカラムとODSカラムについて、移動相が保持挙動に及ぼす影響を調べるためCa拮抗剤を分析しました。フェニルカラムでは、メタノールを移動相に用いたとき、比較的保持が大きくなりました。これは、メタノールはアセトニトリルと違い π 電子を持たないため、フェニル基と試料の π - π 相互作用を妨害しないためと考えられます。

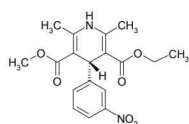
キーワード : Ca拮抗剤; 超高速液体クロマトグラフィー; メタノール; π 電子; π - π 相互作用
Key words : Calcium antagonists; HPLC; methanol; π electron; π - π interaction
Column : **L-column2 ODS** (USP category : L1); **L-column2 C6-Phenyl** (USP category : L11)

Sample :

1. Nifedipine
(100 mg/L)



2. Nitrendipine
(100 mg/L)



3. Diltiazem Hydrochloride
(100 mg/L)

